

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0103	政策名	商業の振興	施策主管課	商工労政課	課長名	久保田 謙一
政策の目指す姿	商業機能を充実し、人とモノの流れを活発にしています						
施策No	02	施策名	商店街の再生	関係課名	大迫・石鳥谷・東和地域振興課		
施策の目指す姿	歴史と景観が調和した魅力ある商店街となっています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業機能の郊外化や後継者の不在により、空き店舗が増加するなど、市街地の商業機能が低下し、買い物客などの人々が行き交う場が少なくなり、まちなかで人々が交流する機会が失われています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなかの利便性を活かし、商業機能の維持と交流機会の創出のため、遊休不動産の活用、新規出店者や既存事業者への支援が求められています。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 花巻商工会議所や家守事業者と連携し、各地域において新規創業希望者の出店需要の高い物件とのマッチングを図るとともに、中央広場等の公共空間の利活用を支援し事業者の呼び込みを図る。 大迫地域においては、花巻商工会議所大迫支部等関係団体で構成された大迫地域街並み整備検討委員会が策定する街並み整備計画の議論を深化させ、建物の改修やイベント等を行い中心市街地商店街の活性化を図る。 石鳥谷地域においては、新たな「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」を中心商店街拠点施設として活用し、様々なイベントや情報発信を行い、地域の交流や賑わいを創るとともに地域振興の活性化を図る。 東和地域においては、「アートのみち365」をテーマとした「まちづくり」を基本とし、イベント期間中だけではなく、年間を通してアートを感じる商店街を目指し、賑わいづくりを創出するために継続して情報発信する。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> 花巻商工会議所などの関係団体や家守事業者と連携して創業支援を実施し、新規で5件の創業があった。また地元住民や商店街、家守事業者が参画する花巻中央エリア活用検討会を開催し、公共空間利活用のための取組み検討を行い、令和15年度からの社会実験の実施を決定した。 大迫地域においては、花巻商工会議所大迫支部等関係団体で構成された大迫地域街並み整備検討委員会が策定する街並み整備計画の議論を深めるため、委員や地域の若者などが参加するワークショップを6回開催した。令和15年度にまちなみ整備計画を策定する。 石鳥谷地域においては、7月に「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」落成を記念し式典・イベントを実施した。その他、商店街での高校生によるチャレンジショップやイルミネーション装飾等様々な事業を実施した。 東和地域においては、アートを感じる商店街を目指し継続して取り組んでおり、商店街内での作品展示、小中学生によるポスターづくり、まちなかでジャズライブなど様々な取り組みを実施した。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 商店街賑わいづくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商店街のイベント支援 商店街振興組合等が賑わいづくりのために行うイベントにかかる費用の一部を補助 ○商店街共同施設の改修支援 商店街がアーケードや街路灯の共同施設の整備や補修等を行う経費の一部を補助 ○商店街での買い物客への利便性を高めるため駐車場を確保 ○商店街における憩いの場づくり 商店街買い物客の休憩所の設置 ○未利用店舗への新規出店の促進と定着支援 未利用店舗を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 ○リノベーションによる空き店舗の活用 ○家守事業者からの相談対応及び中央広場等公共空間の活用支援 ○商業機能の維持 商店街団体や商工団体の事業活動の支援 <p>(2) 地域の特色や景観を生かした商店街づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援 大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心商店街の顔づくりに取り組む商店街等への支援 ○地域の特色や景観を生かしたまちなか誘導への取組支援 石鳥谷酒蔵交流館再整備（新築落成） 	
---	--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
市街地における一日当たりの歩行者数	商店街が存在する中心市街地への誘客が必要なことから、中心市街地における歩行者通行量が指標として適当と考える。	花巻商工会議所が調査を実施。地区別（旧1市3町）に、毎年、可能な限り、同時期、同地点で調査を実施。調査は、休日（日曜日）と平日（月曜日）の2日間。歩行者と自動車をカウントしている。	人	目標値	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	
				実績値	4,896.00	5,432.00	4,888.00	6,617.00		
中心市街地の新規出店数	商店街が存在する中心市街地の魅力の向上が必要なことから、中心市街地における新規出店者が指標として適当と考える。	中心市街地の未利用店舗を活用して、新規に創業する者に対する補助金の交付決定件数。	店	目標値	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
				実績値	4.00	4.00	1.00	5.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「市街地における一日あたりの歩行者数」…【達成度a】 調査日の天候は晴れと雨のち晴れの日であった。コロナ禍直後は減少傾向であったが、通常時に戻りつつあり、成果指標を達成することができた。まちなかへの新たな出店や公共空間を利用したイベント等も行われており目標達成につながっていると考えられる。</p> <p>■成果指標「中心市街地の新規出店者数」…【達成度a】 中心市街地に飲食店が3店、美容室・サロンが2店、新たに開業した。中心市街地でのリノベーションまちづくりの認知度の高まり、まちなか創業支援事業補助金の活用、開業希望者への相談体制の充実などの効果によって目標達成につながっていると考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(商店街賑わいづくり事業) ・物件調査結果の活用が見込める物件について、出店希望者や家守事業者とのマッチングに活用する。 ・イベント時や商工団体の取組を活用し、新規創業支援の取組やリノベーションまちづくりの周知を行う。 (商店街利便性向上事業) ・中心市街地の商店街への誘客に必要な駐車場と歩行者導線、休憩所の設置は不可欠であり、既存の公共施設や民間集客施設の利用状況を踏まえて、新設や統合などの適正配置を検討する必要がある。 (商店街景観形成事業) ・中心商店街顔づくり交付金を活用した大迫・石鳥谷・東和地域の既存イベントの実施のほか、特色ある街並みを生かしたまちづくりに取り組む。 (1)リノベーションまちづくり推進事業) ・民間の物件だけでなく中心市街地の公共空間も多様な活用ができるよう関係機関や地元商店街と連携し社会実験を実施しエリアの活性化を図っていく。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>・コロナ以前からあった商店街の構成員の高齢化や構成員数の減少などの状況、インターネット通販等の利用の増加、消費者の消費傾向の変化（滞在型の余暇の過ごし方、体験等を重要視する「コト消費」への転換）などの状況及びコロナ禍による売上減少などの影響を打開するため、新たな事業者の呼び込みや育成を図る。</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・地元の魅力への関心を高め、花巻のみならず大迫・石鳥谷・東和の各商店街の新規創業支援や民間主導のリノベーションまちづくりの促進に向けた支援が必要である。また商店街では構成員の高齢化・減少が課題となっており、新規事業者の呼び込み、事業承継支援が必要となっている。</p> <p>・大迫地域においては、遠野街道の宿場町として栄え当時の面影を残した貴重な建物の有効活用と古いまちなみを活かし、リノベーションや景観形成を促進し、中心市街地商店街の活性化に向けた支援が必要である。</p> <p>・石鳥谷地域においては、中心商店街が基軸となり、地域の交流や賑わいを創るとともに地域振興の活性化を図ることが必要となっている。</p> <p>・東和地域においては、土沢商店街の賑わいづくりの創出を図るため「アートのまち365」をテーマとした特色ある各種イベントや情報発信の強化が必要となっている。</p>
今後の方向性
<p>・花巻商工会議所や家守事業者と連携し、各地域において新規創業希望者の出店需要の高い物件とのマッチングを図るとともに、中央広場等の公共空間の利活用を支援しまちなかへの事業者の呼び込みを図る。</p> <p>・大迫地域においては、花巻商工会議所大迫支部等関係団体で構成された大迫地域まちなみ整備検討委員会が策定するまちなみ整備計画の議論を深化させ、建物の改修やイベント等を行い中心市街地商店街の活性化を図る。</p> <p>・石鳥谷地域においては、「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」を中心商店街拠点施設として活用し、様々なイベントや情報発信を行い、地域の交流や賑わいを創るとともに地域振興の活性化を図る。</p> <p>・東和地域においては、「アートのまち365」をテーマとした「まちづくり」を基本とし、イベント期間中だけでなく、年間を通してアートを感じる商店街を目指し、賑わいづくりを創出するために継続して情報発信する。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
	事業内容(活動実績)		直結度		
010	商店街賑わいづくり事業費	商工労政	一致	直結	C
	商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業を支援 (R3:3件 1,102千円 R4:7件、2,425千円)				
			A		
012	商店街賑わいづくり事業費	商工労政課	一致	直結	C
	中心市街地で未利用店舗を活用して新たに創業する事業者への補助及び経営指導 (R4:補助件数5件、指導実績5件)				
			A		
020	商店街利便性向上事業費	商工労政	間接・少数	間接・補完	A
	商店街の利便施設の運営を支援 (対象:一日市、上町、石鳥谷、大迫、東和)				
			C		
030	商店街景観形成事業費	商工労政	一致	直結	A
	大迫・石鳥谷・東和の各中心商店街等の顔づくりに取り組む商店街団体等への支援				
			A		
040	中小企業持続支援事業費	商工労政	一致	直結	-
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている事業者に対し、事業継続の下支えを実施 (家賃補助:のべ623件、63,900千円 中小企業売上アップ支援 (paypayキャンペーン) 383,694千円 他)				
			A		
050	リノベーションまちづくり推進事業費	商工労政	一致	間接・補完	B
	花巻リノベーション構想の実現に向けて、物件オーナーや事業者向けにリノベーションまちづくりシンポジウムを開催。まちなかの公共空間の利活用促進のための取組。				
			B		